

学校法人会計の未収入金・未払金について

1. 概要

学校法人会計の未収入金・未払金は、発生主義を想定した科目ではありません。次年度へ繰り越すための科目として用意されています。

そのため下記の点を留意してください。

2. 発生主義で仕訳をするには

会計期中の科目を用意していますので、次のような仕訳を行ってください。

(未払金・未収入金の発生)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
156010 教育/消耗品費	3,000	22060 未払金(会計期中)	3,000
213020 未収入金(会計期中)	50,000	51020 授業料	50,000

仕訳例のように、会計期中で発生した未払金や未収入金は未払金(会計期中)や未収入金(会計期中)の科目を使ってください。

(会計期中で未収入金・未払金が解消)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
122060 未払金(会計期中)	2,000	12030 預金1	2,000
212030 預金1	40,000	13020 未収入金(会計期中)	40,000

会計期中の未払金や未収入金の解消も同様に会計期中の科目を使用します。

(年度末に行う決算整理仕訳)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
113010 未収入金	10,000	13020 未収入金(会計期中)	10,000
222060 未払金(会計期中)	1,000	22050 未払金	1,000

年度末に行う決算整理仕訳として、会計期中で残った会計期中の未収入金や未払金を本来の未収入金や未払金に振替える仕訳を行ってください。

この例では、未収入金は10,000円、未払金は1,000円繰り越すことになり、この金額が資金収支計算書では、“資金調整勘定”にそれぞれマイナス金額として入ります。

3. 次年度での未収入金・未払金の解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
122050 未払金	1,000	12030 預金1	1,000
212030 預金1	10,000	13010 未収入金	10,000

- ✚ 前年度から繰り越されてきた**未払金**や**未収金**が解消されたら次のような仕訳をおこなってください。
- ✚ この仕訳により、資金収支計算書では、**前期末未収入金収入**、**前期末未払金支出**に計上されます。

以上のような仕訳を行ってください。

重要なこと

発生主義で未払金や未収金を使って仕訳を行いますと、資金収支計算書が正常に作成されませんのでご注意ください。